

役員一覧 (2025年6月27日現在)

取締役



代表取締役社長
亀津 克己

1985年 3月 当社入社
2013年 6月 当社執行役員
2016年 6月 当社取締役執行役員
2019年 6月 当社取締役常務執行役員
2022年 6月 当社代表取締役社長(現任)



代表取締役専務執行役員
山本 司

1986年 3月 当社入社
2018年 6月 当社執行役員
2021年 6月 当社取締役執行役員
2022年 6月 当社代表取締役専務執行役員(現任)
同年 6月 当社内部統制・コンプライアンス・CSR・経理担当
2023年 10月 当社内部統制・コンプライアンス・サステナビリティ・経理担当(現任)



取締役専務執行役員
田邊 智

1989年 4月 当社入社
2013年 6月 当社執行役員
2019年 6月 当社取締役執行役員
2021年 6月 当社取締役常務執行役員
2024年 6月 当社取締役専務執行役員(現任)
2025年 4月 当社生産部門・安全衛生・環境・品質保証統括担当(現任)



取締役常務執行役員
佐藤 清

2003年 6月 当社入社
2016年 6月 当社執行役員
2021年 6月 当社取締役執行役員
2023年 10月 当社研究開発・デジタル化推進担当(現任)
2024年 4月 当社取締役上席執行役員
同年 6月 当社取締役常務執行役員(現任)



取締役常務執行役員
龍光 幸徳

1988年 9月 当社入社
2017年 6月 当社執行役員
2021年 6月 当社高機能製品事業本部長(現任)
2022年 6月 当社取締役執行役員
2023年 10月 当社営業部門担当(現任)
2024年 4月 当社取締役上席執行役員
2025年 6月 当社取締役常務執行役員(現任)



社外取締役
和智 洋子

1989年 4月 弁護士登録(現任)
同年 4月 梶谷総合法律事務所入所(現在)
2015年 6月 当社社外監査役
2019年 6月 当社社外取締役(現任)
2023年 6月 エステー株式会社社外取締役(現任)
2025年 3月 協和キリン株式会社社外監査役(現任)



社外取締役
真鍋 靖

1979年 4月 株式会社日立製作所入社
2017年 4月 同社執行役員常務・営業統括本部副本部長兼産業・流通・水・アーバン担当CMO
2021年 6月 三菱瓦斯化学株式会社社外取締役(現任)
2024年 6月 当社社外取締役(現任)



社外取締役
岩崎 玲子

1989年 4月 凸版印刷株式会社(現 TOPPANホールディングス株式会社)入社
2002年 4月 株式会社トップンマインドウェルネス(現 TOPPAN株式会社)常務取締役
2014年 1月 同社代表取締役
2024年 5月 アークランズ株式会社社外取締役(現任)
同年 8月 株式会社For SDGs設立
同社代表取締役(現任)
2025年 6月 西川ゴム工業株式会社社外取締役(現任)
同年 6月 当社社外取締役(現任)

監査役



常勤監査役
野瀬 満

1986年 3月 当社入社
2023年 6月 当社常勤監査役(現任)



常勤監査役
本橋 和幸

1989年10月 当社入社
2024年 6月 当社常勤監査役(現任)



社外監査役
村瀬 幸子

1995年 4月 ニチハ株式会社入社
2008年 9月 弁護士登録(現任)
2015年11月 株式会社文教堂グループホールディングス
社外監査役(現任)
2018年 9月 九段坂上法律事務所入所(現在)
2019年 6月 当社社外監査役(現任)
2020年 6月 マクセルホールディングス株式会社
(現マクセル株式会社)社外取締役(現任)
2024年 6月 日本鑄造株式会社社外取締役(現任)



社外監査役
高野 信彦

1975年 4月 福岡国税局採用
2016年 7月 熊本国税局長
2017年 8月 税理士登録(現任)
同年 8月 高野信彦税理士事務所所長(現任)
2018年 3月 東亜合成株式会社社外取締役
(監査等委員)(現任)
2020年 6月 当社社外監査役(現任)



社外監査役
出口 雅敏

1982年 4月 住友商事株式会社入社
2017年 4月 同社執行役員内部監査部長
2019年 4月 住友精密工業株式会社常務執行役員
2020年 6月 同社代表取締役専務執行役員
コーポレートマネジメント部門長
2023年 9月 テクノプロ・ホールディングス株式会社
社外取締役(監査等委員)(現任)
2024年 6月 当社社外監査役(現任)



社外取締役メッセージ

社外取締役 和智 洋子

——取締役会における議論の状況や主な議題についてどのようにお考えですか。

社内外を問わず、率直な意見が述べられており、闊達な議論がなされています。報告事項についても、実績についてはコンパクトに、今後についての課題を含めた中期的なビジョンも盛り込むなどの工夫が続けられており、取締役会の重要な職責である経営方針やガバナンスの決定に資するものになっていると考えます。

——印象に残っている議論についてお聞かせください。

丁寧な経過報告がなされることで最終的な意思決定に向けて十分な検討ができたという事案がありました。経済状況も政治状況も予断を許さない現状においては、迅速かつ果敢な判断が求められることが多くなっていますが、事案によっては経過を見守り時間をかけてじっくりと考えるという余裕を持つことも必要だと感じた次第です。

——ニチアスのガバナンス面への評価についてお聞かせください。

ガバナンスが機能しているかという視点を常にきちんと持って経営されていると考えます。ただ、言わずもがなですが、常に改善が必要なこと(NKKの精神ですね)はいうまでもありません。

——ご経歴やご経験を社外取締役としてどのように活かしていただいているか、また今後、どのような役割を果たしていこうとお考えでしょうか。

長年さまざまな業種の企業法務にかかわり、発生してしまった事象のみならず、予防法務の観点からの対応も担当してきました。また、複数の会社の社外役員を経験することにより、法律家の立場からのコンプライアンスやガバナンスのアドバイスだけでなく、世の中の変化に応じた企業の中長期的な方向性をどう舵取りしていくべきか等についてもいろいろと考える機会を得ました。今後もこれらの経験を活用し、かつ、社外の目を持ち続けてニチアスの発展に尽力したいと思います。

——持続的な成長の実現に向けたニチアスへの期待や課題について、ご意見をお聞かせください。

ニチアス理念“私たちは、「断つ・保つ」の技術で地球の明るい未来に貢献します”の実践については、役員だけでなく従業員一人ひとりがしっかりと考えていると感じています。地球の明るい未来への貢献は、当社のみならず社会の持続的な成長に向けたものと言えます。今後もこの理念を堅持することは当然のこととし、同時に、発想の転換も含めた柔軟性が発揮されることを期待しています。



① 取締役会

当社の取締役会は、経営の透明性、公正性を高め、かつ意思決定を迅速に効率的に行うため、当社事業に精通した5名の取締役と、独立した立場から自由に提言できる3名の社外取締役で構成しています。取締役会は毎月定例日に1回、および必要な場合は臨時に開催し、取締役会規程に定めるさまざまな重要事項を決定するとともに業務執行の状況を監督しています。

2024年度活動内容

取締役会では、2022年度を初年度とする5ヵ年の中期経営計画「しくみ・130」の第1ステージの最終年度として、収益性の向上、効率的運営、環境対応、基盤強化などの諸施策のほか、2025年度からの第2ステージに向けての事業の選択と集中、新規投資案件、株主還元などについての議論、審議を行いました。また、既存の投資案件の進捗状況や、気候変動対応、サイバーセキュリティ対応などについても定期的なモニタリングを実施しています。

2024年度開催回数：14回

取締役会の実効性評価

当社では全取締役および監査役が、取締役会の構成や運営状況などについて、無記名のアンケートによる自己評価を行い、その内容を取締役会で検討・分析することで、取締役会の実効性を評価しています。

実施時期

2025年6月

評価項目

- 取締役会の構成
- 取締役会の役割・責務
- 取締役会の運営・審議
- 取締役の職責
- 任意の諮問委員会など

評価結果

取締役会の全体としての実効性が十分確保されていることを確認しました。

「議案の絞り込みによる会議運営の見直し」「持続的成長に資する中長期的議論、非財務情報についての議論の深化を図るべき」などの課題が挙げられました。

評価を踏まえた今後の検討事項

取締役会の運営のさらなる改善に努め、中長期的な議論や非財務情報に関する議論の深化を図っていきます。

② 監査役会

当社は監査役会設置会社であり、経営監視のための機能の客観性と中立性を確保するため、それぞれ異なった専門分野(会社経営、法律および財務・会計)を持った、自由な立場で意見を述べる事ができる3名の社外監査役と、さまざまな当社業務経験を持つ2名の常勤監査役によって構成しています。監査役会は原則として毎月1回開催され、監査状況の報告のほか、経営執行の適法性等について活発な意見が交わされています。また、取締役会等においては、高い見地から経営に対し積極的に意見表明を行っています。

2024年度開催回数：13回

③ 指名委員会

取締役会の諮問機関として、「指名委員会」を設置しています。役員候補者の選任については、「指名委員会」が選任基準に照らして、協議・推薦したうえ、取締役会にて審議し、株主総会に候補者を提案しています。委員長および構成員の過半数を独立社外役員とし、役員候補者の選任のプロセスの客観性や妥当性を高めています。

構成 (2025年6月27日現在)

委員長:和智洋子(社外取締役)

委員:亀津克己(代表取締役社長)、山本司(代表取締役専務執行役員)、真鍋靖(社外取締役)、岩崎玲子(社外取締役)

2024年度活動内容

指名委員会では、2024年度の株主総会終了後の新たな経営陣のもと、委員会の構成を見直し、委員長および委員の過半数を社外役員とする変更を行いました。2025年度の実行役員候補者についての審議のほか、将来の経営幹部候補育成のための施策、当社のこれからの人事戦略などを担う組織の新設などについて議論し、取締役会に答申いたしました。

2024年度開催回数：2回

④ 報酬委員会

取締役会の諮問機関として、「報酬委員会」を設置しています。取締役の報酬等の決定については、業績、職務の重要性や責任等を勘案して、「報酬委員会」において協議した結果を取締役会にて審議し決定しています。委員長および構成員の過半数を独立社外役員とし、報酬決定のプロセスの客観性や妥当性を高めています。

構成 (2025年6月27日現在)

委員長:真鍋靖(社外取締役)

委員:亀津克己(代表取締役社長)、山本司(代表取締役専務執行役員)、和智洋子(社外取締役)、岩崎玲子(社外取締役)

2024年度活動内容

報酬委員会では、2024年度の株主総会終了後の新たな経営陣のもと、委員会の構成を見直し、委員長および委員の過半数を社外役員とする変更を行いました。2025年度の実行役員候補者の報酬案のほか、ESG指標などの非財務考慮要素による役員業績連動報酬制度の導入の是非、報酬の変動幅、導入時期などについて議論し、取締役会に答申いたしました。

2024年度開催回数：3回

取締役会、監査役会、指名委員会、報酬委員会の概要 (2024年度実績)

	氏名	各会議体への出席状況			
		取締役会	監査役会	指名委員会	報酬委員会
取締役	亀津 克己	14/14回	—	2/2回	3/3回
	山本 司	13/14回	—	—	1/1回
	田邊 智	13/14回	—	—	—
	佐藤 清	14/14回	—	—	—
	龍光 幸徳	14/14回	—	—	—
	江藤 洋一 (社外)	14/14回	—	2/2回	—
	平林 良人 (社外)	4/4回	—	—	—
	和智 洋子 (社外)	14/14回	—	—	3/3回
	真鍋 靖 (社外)	10/10回	—	2/2回	—
監査役	関 裕昭	4/4回	3/3回	—	1/1回
	野瀬 満	14/14回	13/13回	2/2回	—
	本橋 和幸	10/10回	10/10回	—	2/2回
	岩淵 勲 (社外)	4/4回	3/3回	—	—
	村瀬 幸子 (社外)	14/14回	13/13回	2/2回	1/1回
	高野 信彦 (社外)	14/14回	13/13回	—	3/3回
	出口 雅敏 (社外)	10/10回	10/10回	—	2/2回

取締役のスキル・マトリクス (2025年6月27日現在)

	氏名		取締役の専門性・経験(スキル・マトリクス)				
			企業経営・戦略	財務・会計	法務・コンプライアンス	営業・マーケティング	製造・開発
取締役	亀津 克己	代表取締役社長	○	○	○	○	
	山本 司	代表取締役専務執行役員	○	○	○		
	田邊 智	取締役専務執行役員	○		○		○
	佐藤 清	取締役常務執行役員	○		○		○
	龍光 幸徳	取締役常務執行役員	○			○	○
	和智 洋子	社外取締役		○	○		
	真鍋 靖	社外取締役	○			○	○
	岩崎 玲子	社外取締役	○		○		

※ スキル・マトリクスは、すべての専門性と経験を記載するものではなく、特に期待する分野について記載したものとなります。

業務執行機関

5 経営会議

取締役会を効率化するための審議機関として、取締役、常勤監査役、本部長および社長が指定した者により構成される「経営会議」が原則として毎週開催され、稟議案件の承認および全社的な業務運営や個別の重要案件に関して審議・報告しています。

2024年度開催回数：48回

6 サステナビリティ推進委員会

環境や社会課題を解決しながら持続的な成長を果たすため、サステナビリティ担当役員を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を設置しています。当委員会は、サステナビリティ推進の基本方針・戦略を策定するとともに、傘下の各専門部会を統括し、当社グループのサステナビリティ活動を推進しています。 [P18参照](#)

2024年度開催回数：8回

7 環境委員会

地球環境に配慮し環境負荷の低減を目指した事業活動を行うため、代表取締役社長を委員長とする「環境委員会」を設置しています。当委員会は、気候変動を含む環境問題にかかわる課題についての対策などを立案し、当社グループの環境負荷低減活動を指導・推進しています。

2024年度開催回数：4回

8 コンプライアンス委員会

法令順守はもとより、社会の良識・常識を踏まえたコンプライアンス活動に取り組むため、コンプライアンス担当役員を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置しています。当委員会は、コンプライアンスの実践に必要な諸施策を策定し、当社グループのコンプライアンス活動を指導・推進しています。 [P33参照](#)

2024年度開催回数：11回

役員報酬

当社は、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を取締役会において決議しており、その概要は以下の通りです。

- a 当社の取締役の報酬は、金銭による固定報酬およびインセンティブを目的とした株式報酬で構成する。ただし、社外取締役の報酬については、その職責に鑑み、固定報酬のみとする。
- b 固定報酬は、月額32百万円以内とする。また、株式報酬は、一定の譲渡制限期間を付した株式とし、固定報酬とは別枠で年額1億円以内、株式数の上限を年4万株以内とする。
- c 各取締役の報酬額は、その役位に応じた基準額を定め、具体的な額については業績、職務の重要性や責任等を勘案して、社外取締役および社外監査役を含めた報酬委員会において協議した結果を取締役会に諮り、決定する。
- d 全取締役の固定報酬および株式報酬のそれぞれの総額は、株主総会の決議により定められた限度額の範囲内において決定する。

役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額及び対象となる役員の員数（2024年度実績）

区分	報酬等の総額	報酬等の種類別の総額		対象となる役員の員数
		金銭固定報酬	株式報酬	
取締役（社外取締役を除く）	296百万円	255百万円	40百万円	5名
監査役（社外監査役を除く）	37百万円	37百万円	—	3名
社外取締役	41百万円	41百万円	—	4名
社外監査役	24百万円	24百万円	—	4名

役員ごとの連結報酬等の総額等※（2024年度実績）

氏名	連結報酬等の総額	役員区分	会社区分	連結報酬等の種類別の額	
				金銭固定報酬	株式報酬
亀津 克己	105百万円	取締役	提出会社	88百万円	16百万円

※ 連結報酬等の総額が1億円以上である者に限定して記載しております。

コンプライアンス

当社グループは、企業経営を行ううえで、また社会の中で活動する一員として、多くのステークホルダーのみなさまと良好な関係を構築できるよう、法令・定款の順守はもとより、社会の良識、常識を踏まえたコンプライアンス活動に取り組んでいます。

当社グループのコンプライアンス活動の基盤は、毎月開催のコンプライアンス委員会本部委員会と3ヵ月に一度開催の各事業所、グループ各社の支部委員会にあります。

グローバル・コンプライアンス・ポリシー

従来から当社グループは、ニチアス理念に基づき、グローバルで健全な経営を行えるようコンプライアンスの実践を経営の最重要課題と位置づけてまいりました。この課題を実践するために、国内外のニチアスグループ全体で共通して順守すべき重要事項を「グローバル・コンプライアンス・ポリシー」として定めております。

また、この「グローバル・コンプライアンス・ポリシー」を踏まえて、「コンプライアンス綱領」を作成しています。本綱領では、社会状況の変化や法改正への適合、違反行為への啓発や通報窓口への相談対応など、「ニチアスグループに関係するすべての方」に守っていただきたいコンプライアンスに関する基本姿勢を示しています。

コンプライアンスに関する3つの基本姿勢

法令・ルールを順守し、その精神を尊重した公正で健全な企業活動を行う。
社員の人権と人格、自主性を尊重し、成長を支援する。
グループをとりまくさまざまな関係者の立場に立った行動とコミュニケーションを通じて、広く社会との良好な関係を維持する。

グローバル・コンプライアンス・ポリシーにおける行動規範

1. 社会規範の順守
2. 贈収賄の禁止
3. 利益相反行為の禁止
4. 公正な事業競争
5. 未公表の会社情報に基づく株式などの売買禁止（インサイダー取引の禁止）
6. 貿易関連法令の順守および適切な輸入手続
7. 人権・人格の尊重
8. ハラスメントの禁止
9. 製品とサービスの安全と品質
10. 環境への配慮
11. 健康で安全な職場環境
12. 知的財産権の保護と活用
13. 情報の管理
14. 正確な財務記録